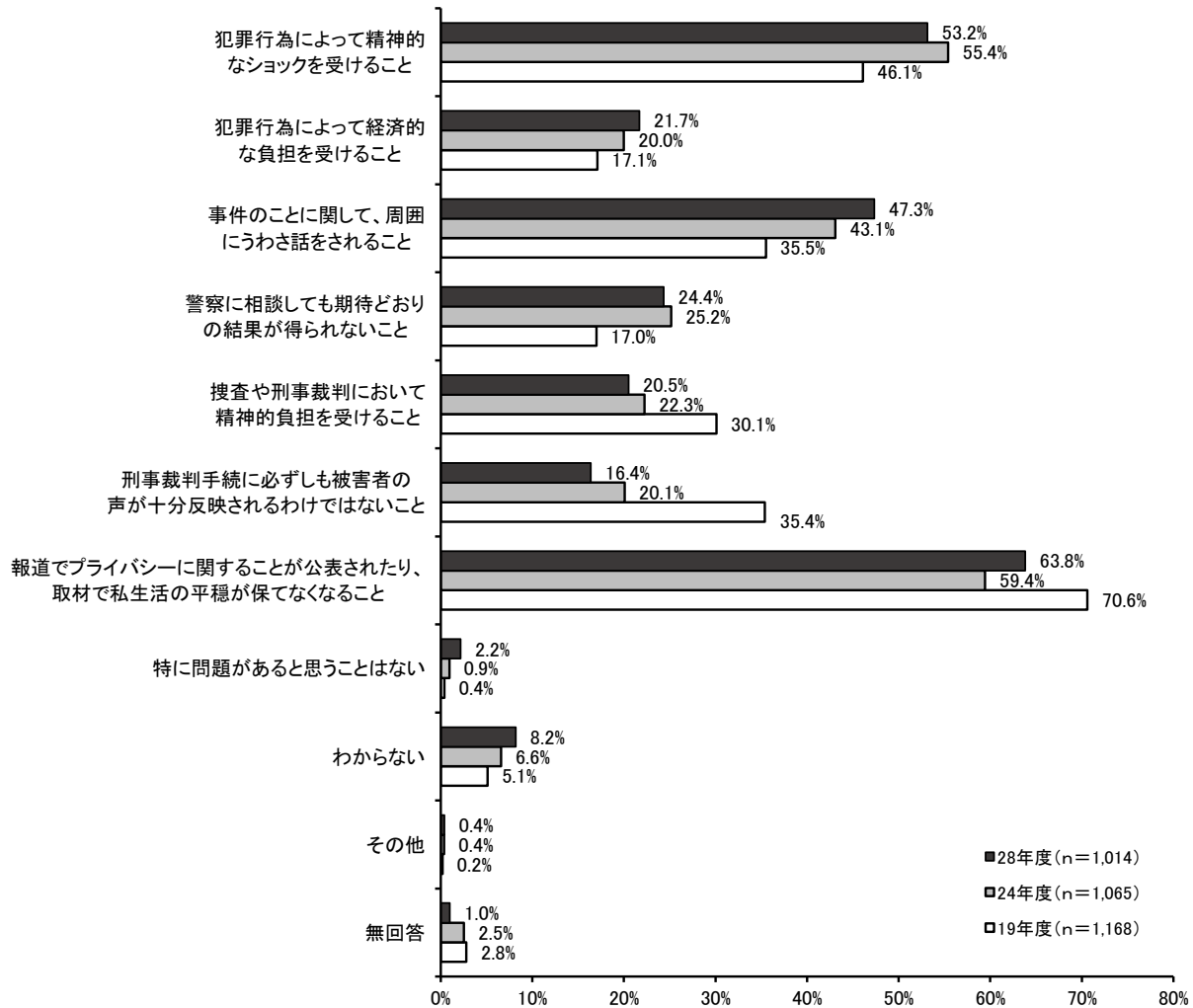


3-9 犯罪被害者とその家族の人権について

(1) 犯罪被害者とその家族の人権問題で、特に問題があると思うこと

問24 犯罪被害者とその家族の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。以下の中から3つまで選んで○をつけてください。



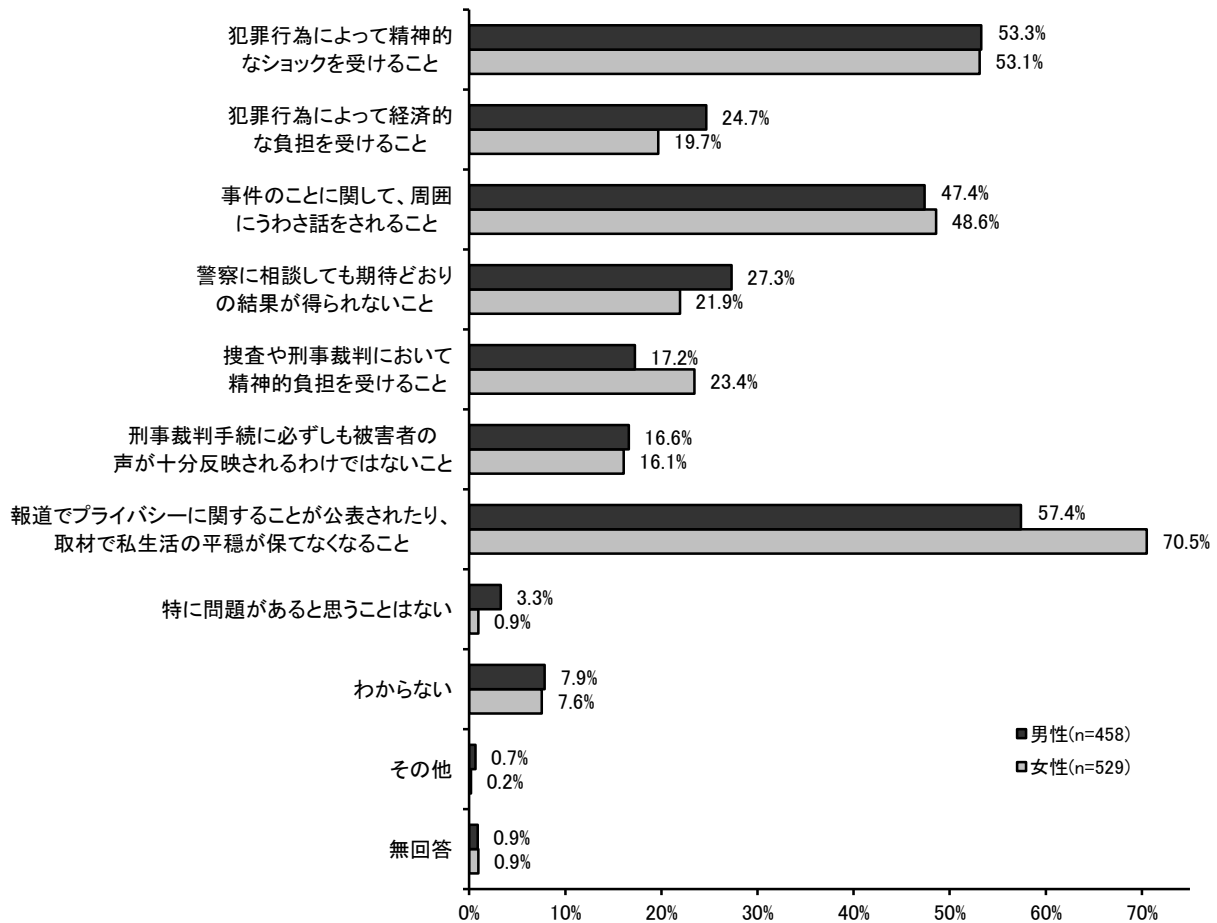
■ 「報道でプライバシーに関することが公表されたり、取材で私生活の平穏が保てなくなる」が63.8%と最も高く、次いで「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」が53.2%、「事件のことに、周囲にうわさ話をされること」が47.3%の順となっている。

【前回・前々回比較】

■ 「報道でプライバシーに関することが公表されたり、取材で私生活の平穏が保てなくなる」は前回より4.4ポイント、「事件のことに、周囲にうわさ話をされること」は4.2ポイント増加している。

■ 「刑事裁判手続きに必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと」は前回より3.7ポイント、前々回より19.0ポイント減少している。

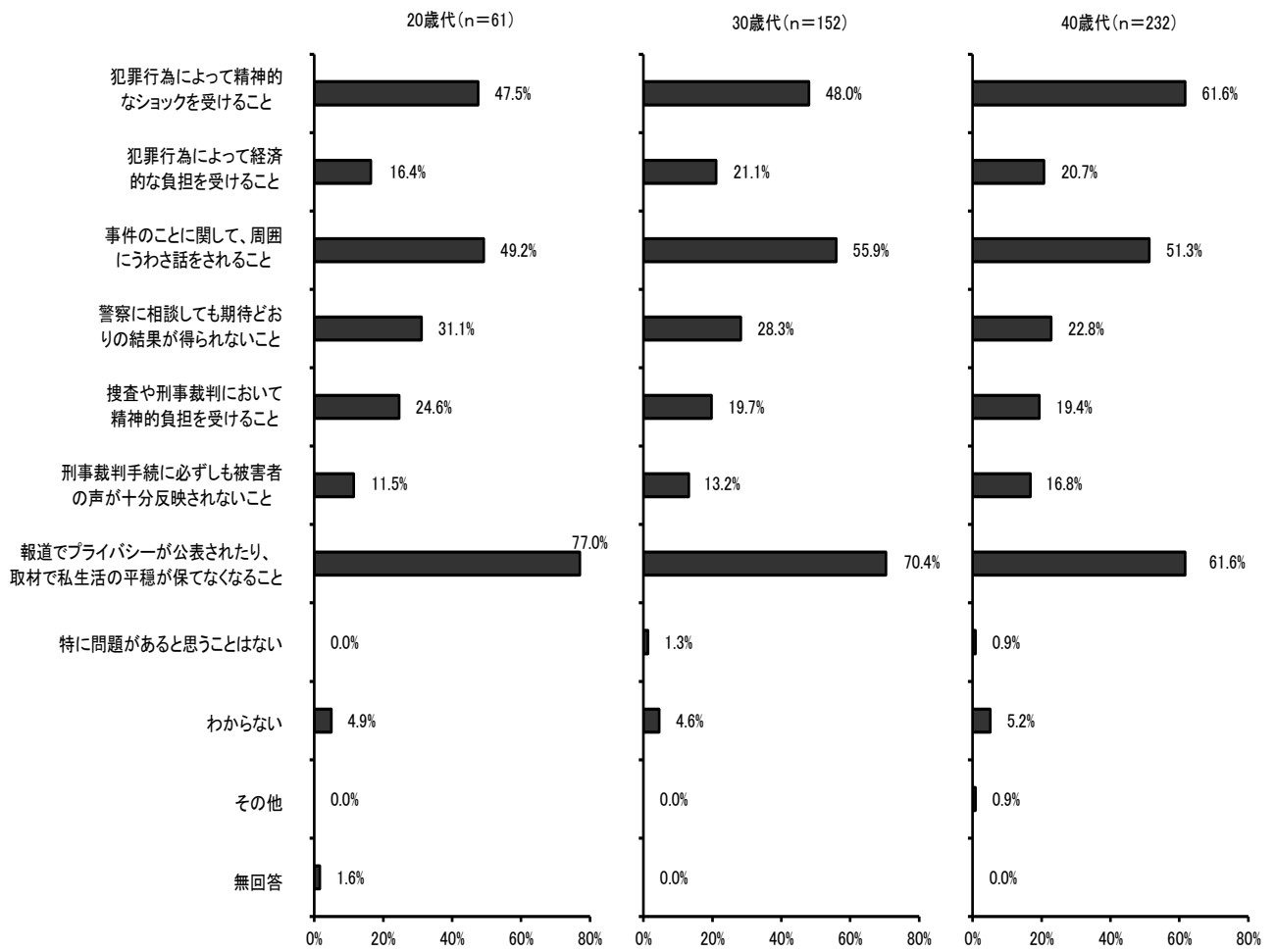
男女別

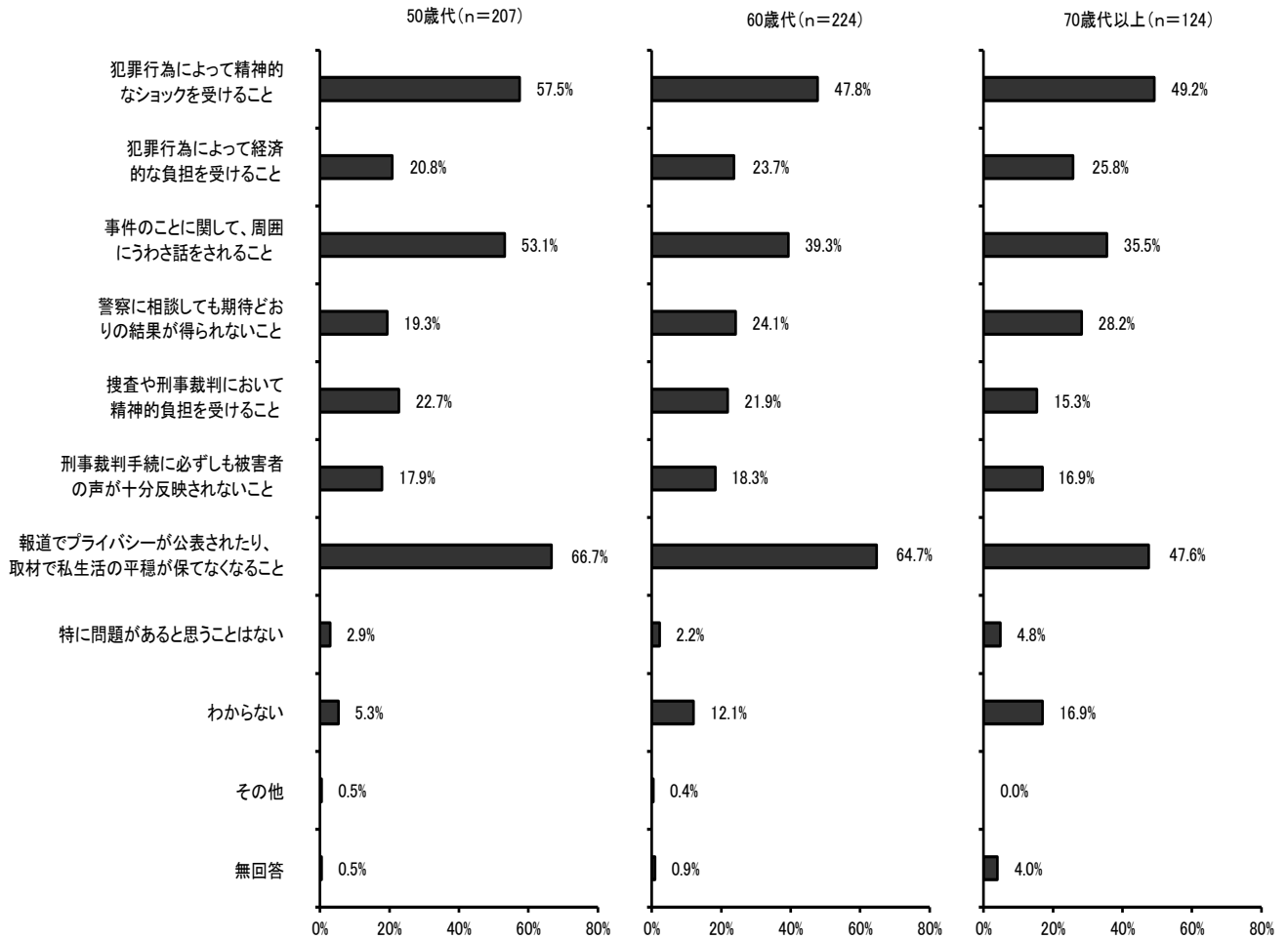


■ 「報道でプライバシーに関することが公表されたり、取材で私生活の平穏が保てなくなること」の割合は、男性より女性が 13.1 ポイント、「捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること」は 6.2 ポイント高くなっている。

■ 「警察に相談しても期待どおりの結果が得られないこと」の割合は、女性より男性が 5.4 ポイント、「犯罪行為によって経済的な負担を受けること」は 5.0 ポイント高くなっている。

年代別



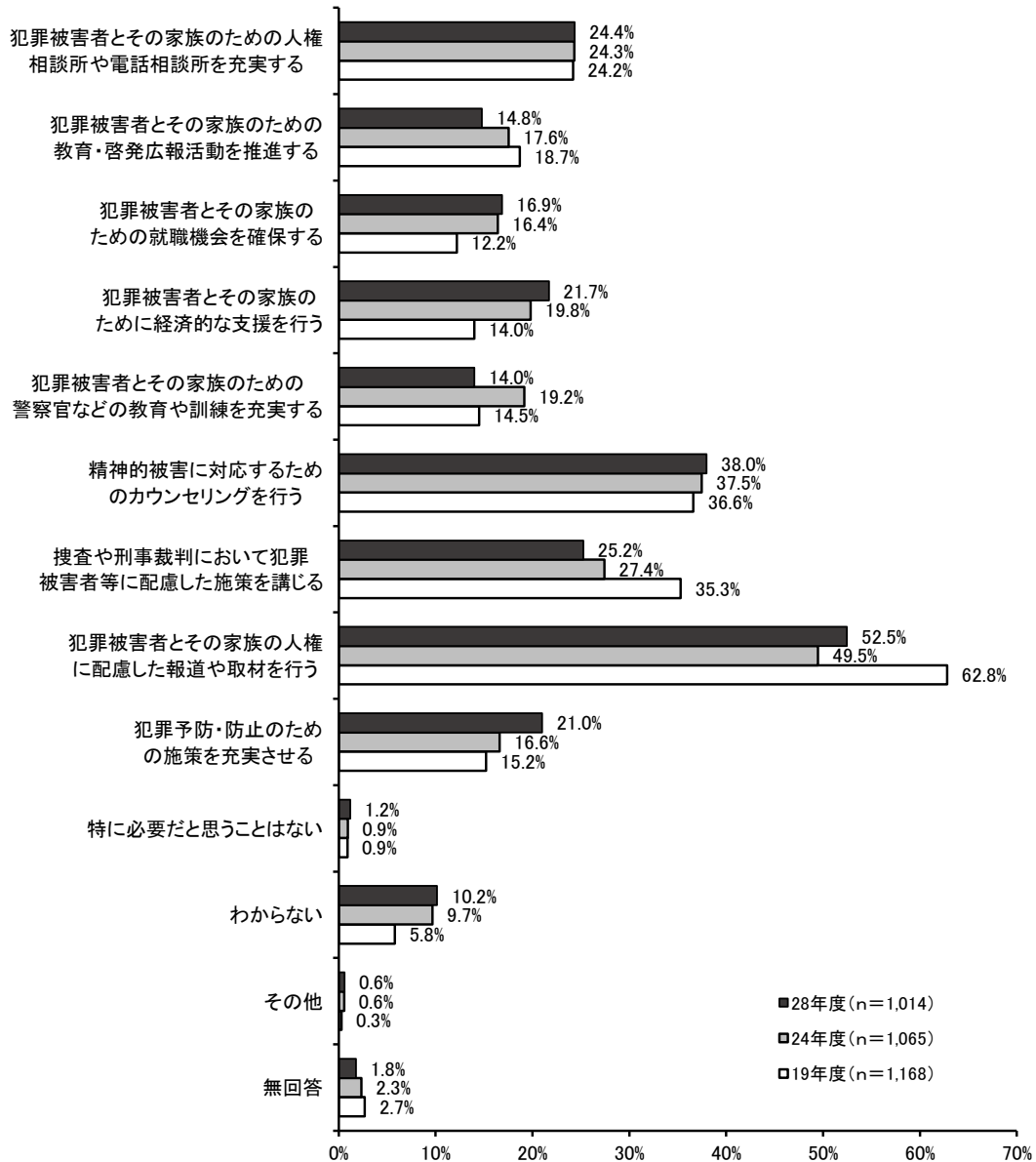


■ 「事件のことに、周囲にうわさ話をされること」「警察に相談しても期待どおりの結果が得られないこと」の割合は、若い年代ほど高くなる傾向がみられる。

■ 70歳代以上では「わからない」が16.9%と、いずれの年代よりも高くなる傾向がみられる。

(2) 犯罪被害者とその家族の人権を尊重するために必要なこと

問25 犯罪被害者とその家族の人権を尊重するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。以下の中から3つまで選んで○をつけてください。

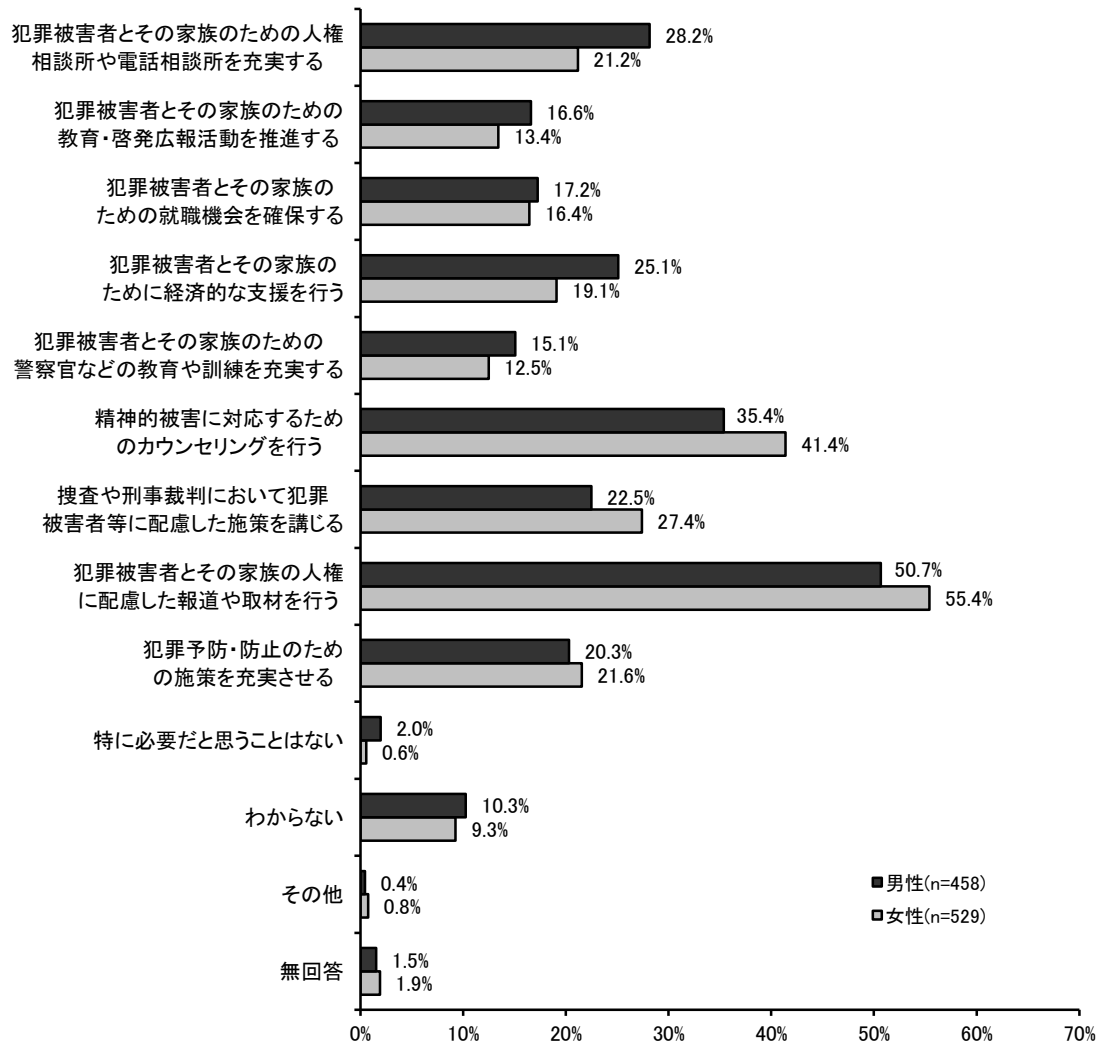


■ 「犯罪被害者とその家族の人権に配慮した報道や取材を行う」が52.5%と最も高く、次いで「精神的被害に対応するためのカウンセリングを行う」が38.0%、「捜査や刑事裁判において犯罪被害者等に配慮した施策を講じる」が25.2%の順となっている。

【前回・前々回比較】

- 「犯罪被害者とその家族のための警察官などの教育や訓練を充実する」は前回より5.2ポイント減少しており、「犯罪予防・防止のための施策を充実させる」は4.4ポイント増加している。
- 「犯罪被害者とその家族の人権に配慮した報道や取材を行う」は前々回より10.3ポイント、「捜査や刑事裁判において犯罪被害者等に配慮した施策を講じる」は10.1ポイント減少している。

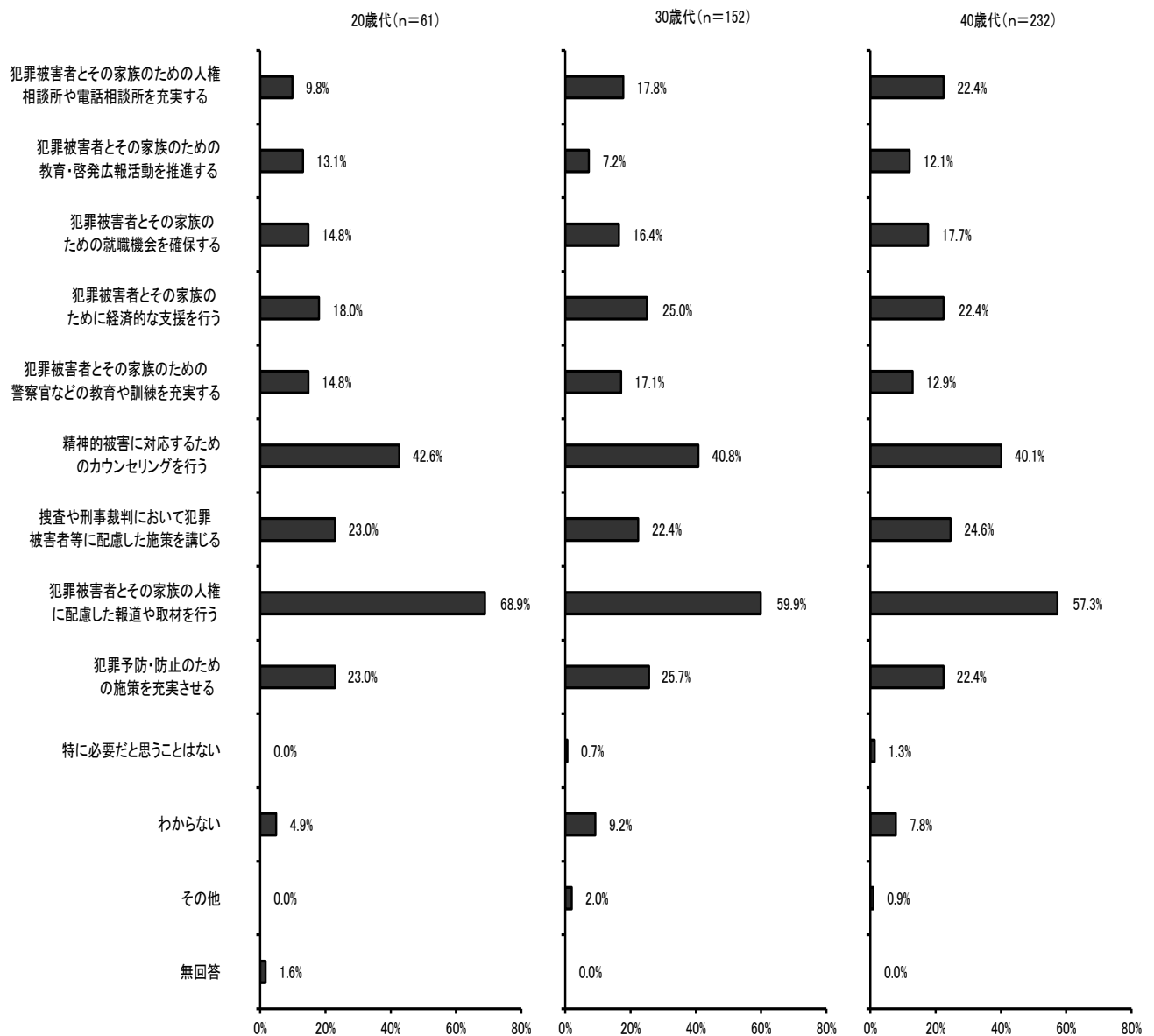
男女別

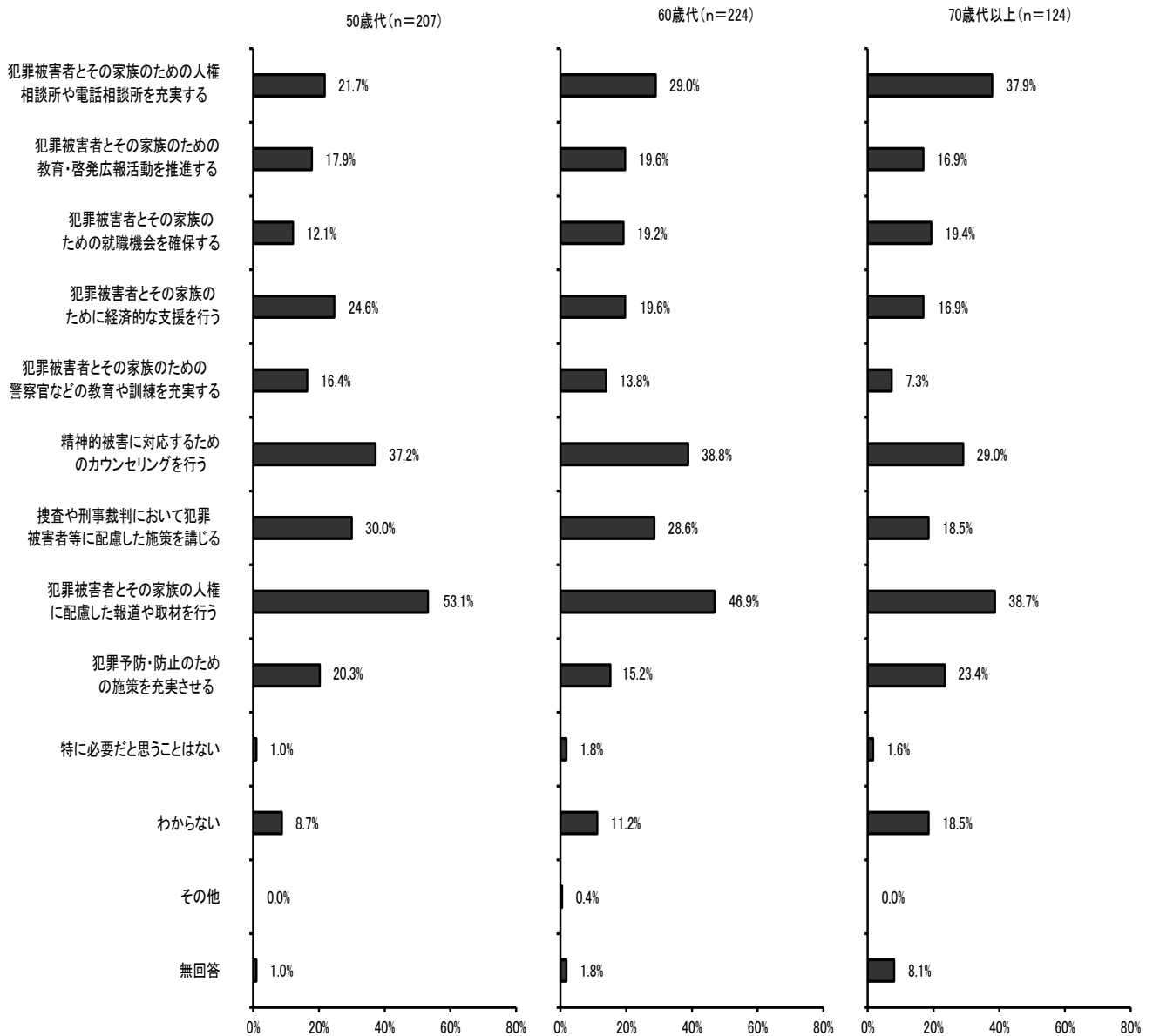


■男女共に「犯罪被害者とその家族の人権に配慮した報道や取材を行う」は5割を超えている。

■「犯罪被害者とその家族のための人権相談所や電話相談所を充実する」の割合は、女性より男性が7.0ポイント、「精神的被害に対応するためのカウンセリングを行う」の割合は、男性より女性が6.0ポイント高くなっている。

年代別





- 「犯罪被害者とその家族のための人権相談所や電話相談所を充実する」の割合は年代が上がるにつれて高くなり、70歳代以上で37.9%となっている。
- 「精神的被害に対応するためのカウンセリングを行う」「犯罪被害者とその家族の人権に配慮した報道や取材を行う」の割合は、若い年代ほど高くなる傾向がみられ、「犯罪被害者とその家族の人権に配慮した報道や取材を行う」は20歳代が約7割と高くなっている。